

Princeton

USB2.0対応SATA-HDDケース

SATA-BOX
デジ蔵 PEC-SB2
Digital Creation Gear Digizo

活用ガイド

本書では、デジ蔵SATA-BOXの使い方を紹介します。



本書をお読みいただく前に

本書をお読みいただく前に、必ず「設定ガイド」に従ってハードディスクを取り付けてください。

接続できる機器について

本製品には、主に下記の機器と接続することが可能です。

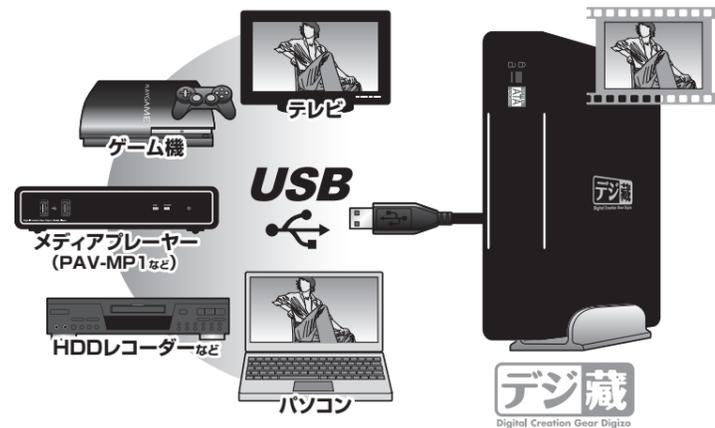
■パソコン

USB2.0ポートを標準搭載するDOS/V (OADG仕様) 対応パソコン、NEC PC98-NXシリーズ PowerPC G4 867Mhz以上およびIntelプロセッサ搭載 Macintosh

利用可能なOSについては、別紙「設定ガイド」をお読みください。

■USB2.0ポートを標準搭載する機器

ご利用の機器に標準搭載されているUSBポートが「USBマストレージクラス対応機器が接続できる」ことをご確認の上ご利用ください。



『テレビ/HDDレコーダー等』
『ゲーム機』
『メディアプレーヤー等』
外付けUSBハードディスク接続対応製品

すべての機器での動作を保証するものではありません。対応製品に関する詳細は当社ホームページをご覧ください。
→ http://www.princeton.co.jp/product/storage/pecsb2_taiou.html

パソコンに接続する

他の機器との接続方法については、裏面をご覧ください。

手順1 付属のUSBケーブルで、本製品とパソコンを接続します。

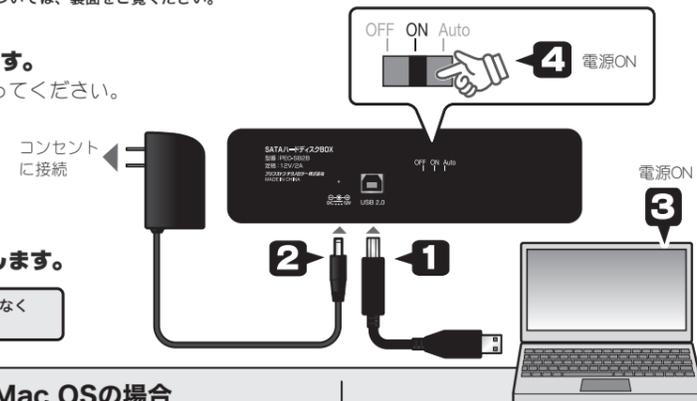
本製品に接続する際は、パソコンの電源はOFFの状態で行ってください。

手順2 ACアダプタを接続します。

手順3 パソコンの電源をONにします。

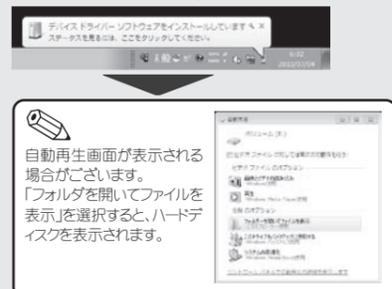
手順4 パソコンが完全に起動したら、本製品の電源をONにします。

本製品を初めてパソコンに接続する際は、電源スイッチは「Auto」ではなく「ON」の状態でご接続します。



■Windowsの場合

(画面はWindows 7の例)



正しく認識されると、「コンピュータ」にハードディスクアイコンが追加されます。

■Mac OSの場合

(画面はMac OS X 10.6の例)



OSのバージョンによっては、ハードディスク接続時に下記の画面が表示される場合がございます。

ハードディスクのフォーマットについて

新しいハードディスクを取り付けた場合、フォーマット作業が必要になる場合がございます。フォーマットの手順については、ご利用のOSのヘルプや取扱説明書に従って正しく行ってください。

正しく認識されたら、ハードディスクとして使用することができます。

パソコンから取り外す

ご利用のOSによっては、画面表示や操作方法が一部異なりますのでご注意ください。

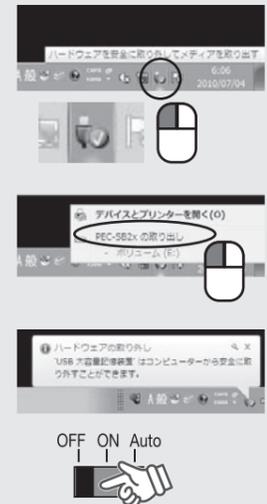
Windowsの場合 (例: Windows 7)

本製品のハードディスク内のファイルやフォルダをすべて閉じます。また、本製品にアクセスしているアプリケーションがある場合は、アプリケーションを終了します。

デスクトップ右下のタスクトレイのUSBアイコンをクリックします。アイコンが表示されていない場合は「隠れているインジケータを表示します」の▲ボタンをクリックしてください。その中の「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。

「PEC-SB2xの取り出し」をクリックします。

「コンピュータから安全に取り外すことができます」と表示されたら、本製品の電源をOFFにして、パソコンから取り外します。



Mac OSの場合 (例: Mac OS X 10.6)

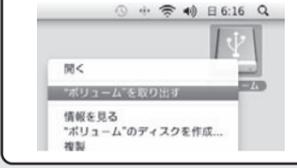
本製品のハードディスク内のファイルやフォルダをすべて閉じます。また、本製品にアクセスしているアプリケーションがある場合は、アプリケーションを終了します。

本製品を表すディスクアイコンをゴミ箱へ入れます。

本製品の電源をOFFにして、パソコンから取り外します。



「control」キーを押しながら、ハードディスクアイコンをクリックすると、コンテキストメニューが表示されます。メニューの中の「ボリューム」を取り出す」を選択して取り外すこともできます。



電源モード

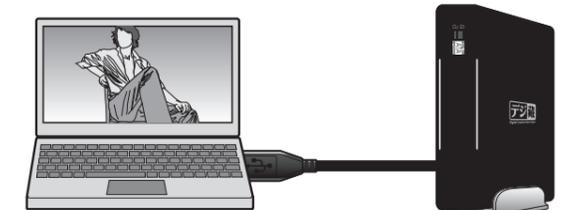
本製品は電源スイッチで電源モードを選択することが可能です。



OFF : 常にオフ
ON : 常にオン
Auto : 「PC電源連動機能」「自動スタンバイ機能」

PC電源連動機能

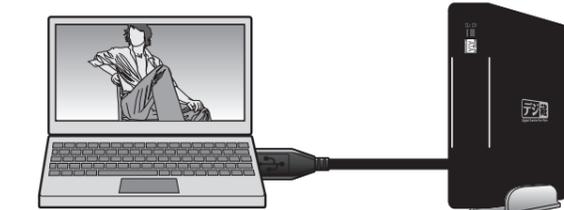
本製品の電源を、PCに連動して電源オン/オフすることができます。



電源オン → 電源オン
電源オフ → 電源オフ

自動スタンバイ機能

本製品に約5分間アクセスが無い場合、自動的に本製品がスタンバイ状態になり、不要な電力消費を抑えます。



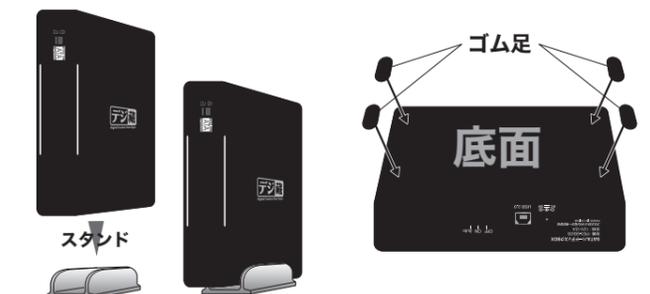
頻繁にアクセス ↔ 通常稼働
一定時間アクセス無し → スタンバイ

スタンバイ中は、マイコンピュータ上ではハードディスクは認識されているのでドライブアイコンが表示されています。再度アクセスすると、自動的に電源がオンになり、使用可能になります。

設置方法について

本製品には、縦置き用のスタンドと、横置き用のゴム足が付属しています。ご利用の環境に応じて、設置してください。

本製品の電源がOFFの状態、設置してください。



裏面に進む

テレビ/HDDレコーダー/ゲーム機など

本製品はテレビやHDDレコーダー、ゲーム機などと接続することで、本製品のハードディスクデータの表示やデータ保存先として使用することができます。



ご注意

- ご利用の機器に標準搭載されているUSBポートが「USBマストレージクラス対応機器が接続できる」ことをご確認の上ご利用ください。
- すべての機器での動作を保証するものではありません。
- 接続する機器のよっては以下の制限があります。接続機器のマニュアル等をよく読みご使用ください。
 - ・ 接続機器から外付USBハードディスクとして認識させるために初期化やフォーマット等が必要になる場合があります。ハードディスク内のデータは、すべて消去されますので必要なデータはあらかじめパソコンなどにバックアップを行ってください。
 - ・ 接続機器によっては専用のフォーマットを使用するため、フォーマットされたハードディスクをそのままパソコンで使用することはできません。再度パソコンで使用したい場合は、再度パソコンでフォーマットする必要があります。フォーマットした場合、ハードディスク内のデータはすべて消去されます。
- 対応製品に関する詳細は当社ホームページをご覧ください。
URL http://www.princeton.co.jp/product/storage/pecsb2_taiou.html

接続方法

ここでは一般的な接続方法をご案内します。詳しい手順は接続機器のマニュアルをご覧ください。

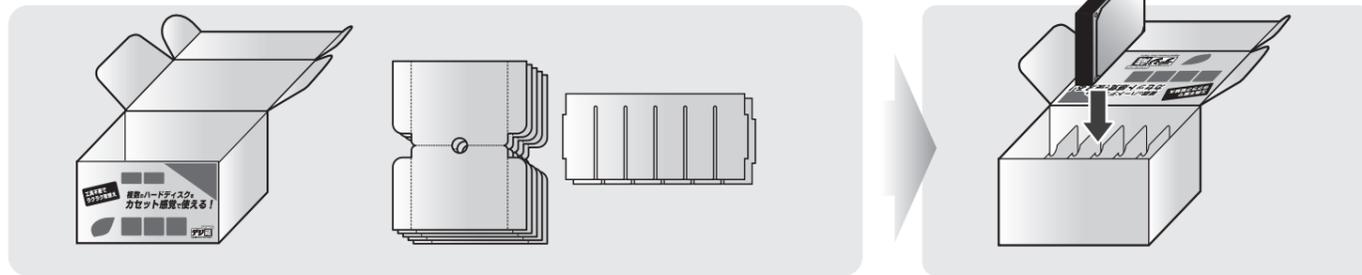
1. 接続機器の電源をオフにします。
2. 付属のUSBケーブルで接続機器と接続し本製品のACアダプタをコンセントに接続します。
3. 接続機器の電源を入れます。
4. 接続機器の起動が完了したら本製品の電源をONにします。

その後、接続機器から外付USBハードディスクとして認識させるために初期化やフォーマット等が必要になる場合があります。詳しくは接続する機器のマニュアルをお読みください。

ハードディスク収納箱の組み立て方

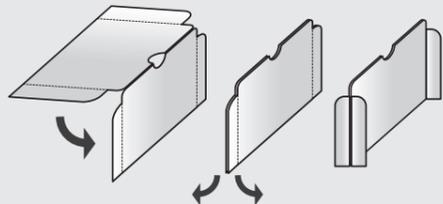
本製品のパッケージは、組み立て直すことで、ハードディスク収納箱として再利用することができます。

❗ 簡易収納箱としてのみご使用ください。ハードディスクの持ち運びや移動の際には使用しないでください。

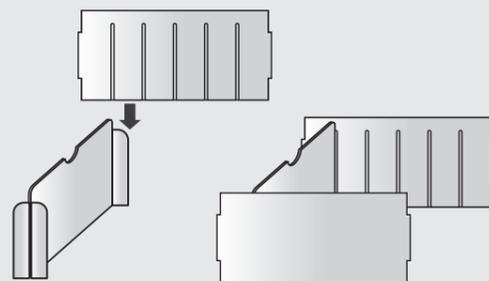


手順1 仕切りの組み立て

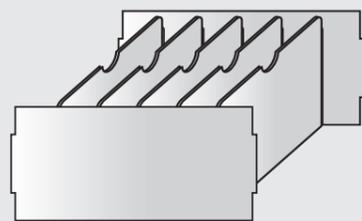
- 1 仕切りを図の様に二つ折りにします。(計5枚作成します。)



- 2 仕切りを「仕切り固定用板」で、図の様に固定します。(左右両側作成します。)



- 3 残りの仕切りを、図の様に挿し込みます。

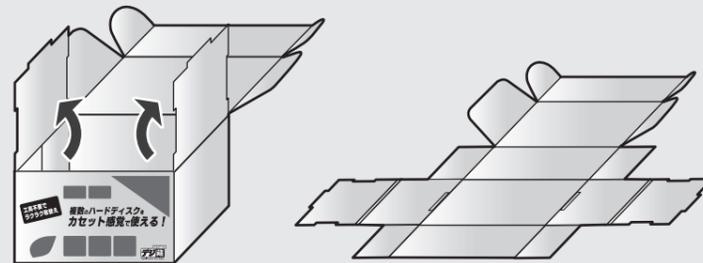


注意

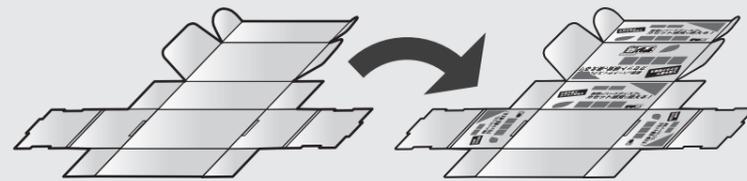
- ・ 本製品を使用してハードディスク内に保存した記憶内容の損害および二次的損害については、当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- ・ 本製品に記載している情報は、本製品の故障・破壊・消失に備えて、定期的にバックアップを取ることをおすすめいたします。
- ・ 本製品の端子部に直接触れたり、むやみに異物を接触させないでください。損傷や汚れによりデータが正常に読み出せなくなる恐れがあります。また、静電気や使用時の接触不良によりデータが消失する場合がございます。
- ・ ハードディスクを取扱う際は、むやみに衝撃を与えないように、ご注意ください。
- ・ 濡れた手で、外箱を触らないでください。
- ・ 下記の様な場所で保管しないでください。
湿気が多い場所/埃の多い場所/屋外/不安定な場所/熱器具の近く/調理器具の近く/ハードディスクの取扱説明書に記載されている、保管や使用場所として不適切とされている場所

手順2 外箱の組み立て

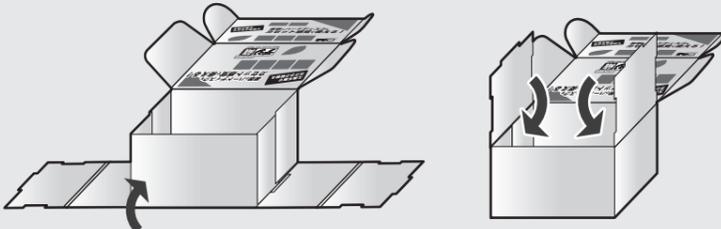
- 1 外箱の内側のフラップ(2箇所)を図の様に開き、外箱を展開します。



- 2 展開した外箱を裏返しにします。

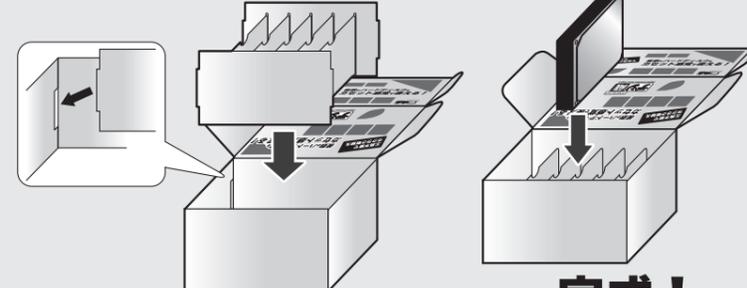


- 3 展開時と逆の手順で組み立てます。



手順3 箱の組み立て

- 1 「手順1」で作成した仕切りを、「手順2」で組み直した外箱に入れます。
- 2 ハードディスクを入れます。



完成!

FAQ

このページでは本製品をご使用いただく際、問題が発生した場合の解決方法を記載しています。問題が発生した場合は、このページをお読みいただく前に、ご使用の環境や機器の接続方法をご確認ください。

FAQ

? ハードディスクが挿入できない。

- ・ 本製品は SATA インターフェイスを持つ 3.5 インチ規格ハードディスクのみ使用可能です。その他のハードディスクはご使用できません。
- ・ 挿し込むハードディスクの向きを確認してください。
- ・ 薄型 3.5 インチハードディスクは縦置での挿入はできません。また、ハードディスクメーカーや型番によってドライブの形状は若干異なり、すべてのハードディスクでは対応できない場合があります。

? ハードディスクが認識しない。

以下内容を確認してください。

- ・ 本製品は USB パスパワーのみでは動作しません。必ず AC アダプタを接続して使用してください。
- ・ 購入後すぐの新しいハードディスクを接続した場合、通常「初期化」および「フォーマット」が必要となります。「初期化」「フォーマット」方法に関しては OS のオンラインヘルプやパソコンのマニュアルを参照し作業を行ってください。
- ・ 電源スイッチを「ON」の状態でも正常に動作するか確認後「AUTO」に変更してください。
- ・ 接続している USB ポートの接続可能なデバイスを確認してください。テレビなどの接続機器によっては、複数の USB ポートの中でハードディスク専用の USB ポートを特定している場合があります。

? パソコンに取り付けて5分くらいすると本製品の電源が勝手にOFFになる。

本製品の電源スイッチを Auto にして使用していた場合、ハードディスクへのアクセスが約 5 分間無い状態で自動スタンバイ機能が働きます。対象のドライブに対してアクセスを行なうとハードディスクは省電力モードから復帰することができます。

? 電源スイッチをAutoに設定しているのにPC電源連動機能が動作しません。

シャットダウン後も USB ポートに電源供給する仕様のパソコンや接続機器では PC 電源連動機能が正しく動作しません。

? パソコン以外で使用できますか?

USB マストレージクラスを認識する機器への接続であれば動作する可能性があります。

ただしパソコン以外でご使用の場合、機器の仕様などによって本製品の電源スイッチを Auto で使用した場合正常に動作しないことがあります。

重要なデータを保存する場合などにおいては電源スイッチを ON の状態で使用することをおすすめいたします。

? ホットスラグに対応していますか?

本製品はホットプラグには対応していません。

OS 上でハードウェアの安全な取り外し手順を行なった後、本製品の電源を OFF にしてハードディスクの交換を行ってください。